

口頭発表プログラム 3月21日			口頭発表プログラム 3月21日		
A会場 (総合教育棟3F306教室)			B会場 (総合教育棟3F305教室)		
時間	座長	2. 造成・管理・栽培	時間	座長	1. 草地生態・システム
8:30	進藤和政	201 ガレガの播種期および再生草刈取期の翌年収量への影響 ○史料健治・佐藤広子・井上 聡・廣井清貞 (農研機構・北農研)	8:30	中神弘詞	101 果樹園・人工草地・自然草地・地球環境のシステムモデル ○塩見正衛 (茨城大学)
8:45		202 北海道根柢地域におけるガレガ栽培の可能性 ○中村直樹 ¹ ・林 拓 ² ・松本武彦 ³ ・牧野司 ⁴ ・角谷芳樹 ⁵ (道総研根柢農業試験場・ ² 道総研天北支場)	8:45		102 種数モデルとそれを利用した草本植物の種数の簡易な推定 ○塩見正衛 ¹ ・陳 俊 ² (茨城大学・ ² 西北農林科技大学・動物)
9:00		203 ペレニアルライグラス混播草地の特性 3. 草地造成後の雑生の推移 ○須藤賢司 ¹ ・大塚博志 ² ・青木康浩 ³ (北農研・ ² ホクレン・ ³ 北農研)	9:00		103 早川飯坂の再評価 -地域社会システム論から草原学への可能性 ○佐々木真晴 (北海道当別高校園芸デザイン科)
9:15	東山雅一	204 混播割合と刈取回数がオーチャードグラス、ペレニアルライグラス混播草地の草種構成に及ぼす影響 ○有田敬俊 ¹ ・二門世 ¹ ・岡元英樹 ² ・前田浩典 ³ ・大城敬二 ⁴ ・岡一義 ⁵ ・吉川恵哉 ^{1,4} ・安達美江子 ⁵ ・竹田芳彦 ⁶ (道総研天北支場・ ² 現:道総研上川農試・ ³ 現:宗谷農改本所・ ⁴ 現:日高農改本所・ ⁵ ホクレン畜産技術実証センター・ ⁶ ホクレン農業協同組合連合会)	9:15	堤道生	104 生産技術体系を用いた牛乳生産の環境影響評価 ○リエラ麻子 ¹ ・日野澤義子 ² ・築城幹典 ³ (岩手大院連農・ ² 三本木農業高校・ ³ 岩手大農)
9:30		205 寒地型牧草地下簡易播種したペレニアルグラスおよびメドウエスクスの播種後翌年および翌々年における秋収量 ○小路敦 (農研機構・北農研)	9:30		105 採草地からの牧草種子拡散の定量化: 農業と生物多様性保全を両立する草地管理に向けて ○江川知花 ¹ ・芝池博幸 (農研機構 農環研センター)
9:45		206 チモン ² 番草収穫後の再生草を利用した晩秋期の放牧期間延長 ○八木隆徳・須藤賢司 (農研機構・北農研)	9:45		106 8年間の禁牧処理による外来牧草の減少と野草の増加 ○西脇亜也 (宮崎大学農学部)
10:00	休憩		10:00	休憩	
10:15	服部青男	207 飼料用イネの乾田不耕起直播栽培の実証 ○小林富雄 ¹ ・橋 保宏 ² ・水尻正裕 ³ ・後藤和美 ⁴ (長野県畜産試験場・ ² 農研機構畜新工学センター)	10:15	小路敦	3. 放牧・家畜管理・行動
10:30		208 寒冷地水田で栽培した「たちすずか」と「たちあやか」の生育特性と飼料特性の解明 ○福室純大 ¹ ・菅井成毅 ² ・久保聖詔 ³ ・松山裕城 ⁴ ・堀口健一 ⁵ ・浦川修司 (山形大学農学部)	10:30		302 放牧条件下の肉用繁殖牛を対象にした発情監視機の試作 ○進藤和政 ¹ ・平野 清 ² ・井出保行 ³ ・浅野桂吾 (農研機構畜産研究部門)
10:45		209 寒冷地における飼料用米向け新系統「W1」・「W8」の生育特性と飼料特性の解明 ○久保聖詔 ¹ ・菅井成毅 ² ・福室純大 ³ ・松山裕城 ⁴ ・堀口健一 ⁵ ・池田浩輔 ⁶ ・浦川修司 ¹ (山形大学農学部・ ² トヨタ自動車)	10:45		303 育成牛の周年放牧に向けた放牧飼養体系の評価 ○浅野桂吾 ¹ ・平野 清 ² ・中尾誠司 ³ ・進藤和政 ⁴ ・下田勝久 ⁵ ・井出保行 (農研機構畜産研究部門)

口頭発表プログラム 3月21日			口頭発表プログラム 3月21日		
C会場 (総合教育棟3F309教室)			D会場 (総合教育棟3F310教室)		
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	時間	座長	シニア発表
8:30	井上秀彦	401 粳米サイレージ調製における乳酸菌資材と乳母の選好性 ○小橋有里 ¹ ・北村 幸 ² (新潟県農業総合研究所畜産研究センター・ ² 雪印種苗(株))	8:30	梨木守	S01 JICA シニア海外ボランティア制度と応募、成果と評価など ○田村良文 (元JICA シニア海外ボランティア)
8:45		402 粳米サイレージの梱包形態と調製方法が発酵品質に及ぼす影響 ○大川夏貴 ¹ ・北川まき ¹ ・中村寿男 ² ・下田茂穂 ³ ・鶴田克之 ⁴ ・鶴田勉 ⁵ (熊本農研七番研・ ² 現:熊本県畜産課・ ³ ヤンマーアグリジャパン(株)・ ⁴ 現:熊本農研七番研)	8:45		S02 搾乳ロボット開発競争の勝者オランダ ○市戸方丈 (元・畜研研)
9:00		403 市販乳酸菌添加による粳米サイレージの開封後の好気的変成抑制効果 ○浅井英樹 ¹ ・岩島裕奈 ² ・白井秀義 ³ ・坂口慎一 ⁴ (岐阜県畜産研究所)	9:00		S03 草地・飼料作における韓国との交流事始め ○清水 矩宏 (ハッ岳中央農業実践大学校)
9:15	川出哲生	404 フレコラップ法を用いたSGS調製体系の実証 (1)粳米 ○魚住 順・嶋野美子・河本英志 (農研機構 東北農業研究センター)	9:15	休憩	
9:30		405 フレコラップ法を用いたSGS調製体系の実証 (2)トウモロコシ ○嶋野美子・魚住 順・河本英志 (農研機構 東北農業研究センター)	9:30	S04 aNDFom、ADFomおよび ADL連続分析の有用性 ○甘利雅樹・田島清・大森英之 (農研機構畜産部門・農水省林産技術会議)	
9:45		406 フレコラップ法を用いたトウモロコシサイレージの長期保存品質 ○嶋野美子・魚住 順・河本英志・出口 新・内野 宙 (農研機構 東北農業研究センター)	9:45	S05 牛飼育現場の話ー男のロマンは女の不満 ○梨木 守 (一般社団法人 日本草地畜産種子協会)	
10:00	休憩		10:00	市戸方丈	S06 ヤギ 搾乳経営の経済性検討 ○今井 明夫 (今井農業技術士事務所)
10:15	須永義人	7. 土壌・肥料	10:15		S07 本場の環境保全型・循環型・持続可能型農業とはーとくに農地土壌の元素の出納についてー ○千秋 道達 (元北里大学獣医学畜産学部)
10:30		701 国内の草地飼料畑の管理実態 ○森 昭憲 ¹ ・宮田 明 ² ・實示戸雅之 ³ ・築城幹典 ⁴ ・松本武彦 ⁵ ・有田敬俊 ⁶ ・清水真理子 ⁷ ・松浦庄司 ⁸ ・長竹 新 ⁹ ・道信有真 ¹⁰ ・波多野隆介 ¹¹ (農研機構畜産部門・ ² 農研機構農環研・ ³ 北里大学・ ⁴ 岩手大学・ ⁵ 道総研根柢農試・ ⁶ 道総研上川農試・ ⁷ 寒地土木研・ ⁸ 北海道大学)	10:30		
10:45		702 窒素・カリ施肥がチモン ² の飼料成分と糖含量に及ぼす影響 ○岡元英樹 ^{1,2} ・笹木正志 ³ ・松原哲也 ⁴ ・増子孝義 ⁵ ・大橋優二 ⁶ (道総研天北支場・ ² 現:道総研上川農試・ ³ 東京農業大学・ ⁴ 現:道総研中央農試)	10:45		

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月21日			口頭発表プログラム 3月21日		
A会場 (総合教育棟3F306教室)			B会場 (総合教育棟3F305教室)		
時間	座長	2. 造成・管理・栽培	時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動
13:00	森田聡一郎	210 神奈川県におけるトウモロコシ二期作の作業分散方法の検討 ○折原健太郎・秋山 清・辻 浩之・森村裕之・齋藤直美(神奈川県畜産技術センター)	13:00	手島茂樹	304 ケンタッキーブルーグラス基幹放牧草地における省力管理条件下の牧草及び家畜生産性 - 16年間の継続調査 ○八木隆徳・高橋 俊(農研機構・北海道農業研究センター)
13:15		211 子実生産に適したトウモロコシの品種特性 ○内野 宙・魚住 順・嶋野英子・河本英憲・出口 新(農研機構 東北農研)	13:15		305 トウモロコシ子実主体サイレージ(HMSC・CCM)の放牧搾乳牛への給与と効果と産乳性 ○須藤賢司・上田靖子・朝隈貞樹・青木康浩・多田慎吾(農研機構 北海道農業研究センター)
13:30		212 暖地における飼料用トウモロコシの高収量収量性品種 ○森 徹(宮崎県畜試)	13:30	黒川勇三	306 春季の放牧泌乳牛へのピートバルブ補給が食草量および乳生産に及ぼす影響 ○上田宏一郎 ¹ ・甲田捺都美 ¹ ・窪田朋代 ¹ ・三谷朋弘 ² (¹ 北大院農, ² 北大FSC)
13:45	213 国産汎用コンパインによる子実トウモロコシ収穫に適した品種選定のポイント ○辻井貴之・三木一嘉(長野県畜産試験場)	13:45	307 放棄地での経年的なヤギ放牧が植生および栄養状態に及ぼす影響 ○土井和也 ¹ ・田宮早恵 ² ・中嶋紀党 ¹ ・八代田真人 ³ (¹ 岐阜大・院・速農, ² 岐阜大・院・応生, ³ 岐阜大・院・応生)		
14:00	214 庄内地域における子実利用を目的としたトウモロコシの生産技術の検討 ○室井智陽・松山裕城・堀口健一・中塚あゆみ・浦川修司(山形大学農学部)	14:00			
14:15	平野清	215 Grazing potential of foggage dwarf napiergrass pasture in southern Koushu (南九州の霧枯れ矮性ネピアグラス草地における放牧可能性の検討) ○Hamid Kadwalli・Yasuyuki Ishii ² ・Ayaka Goto ² ・Li Bo Kun ³ ・Sachiko Idota ² ・Kiichi Fukuyama ² (¹ Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering, University of Miyazaki (UM), ² Faculty of Agriculture, UM, ³ Graduate School of Agriculture, UM)	14:15		
14:30		216 Yields from year-round triple cropping with a four-harvest system consisting of spring maize (春作トウモロコシ・ミレット類および耐暑性イタリアンライグラスによる年間3作4回収穫体系における収量性) ○Li Bo Kun ¹ ・Yasuyuki Ishii ² ・Yang Yingkui ³ ・Hirokazu Shinchi ² ・Mitsuhiro Niimi ² ・Sachiko Idota ² ・Shegeki Nukudani ⁴ ・Keiko Nishimura ⁴ (¹ Graduate School of Agriculture・University of Miyazaki (UM)・ ² Faculty of Agriculture, UM・ ³ Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering, UM・ ⁴ Miyazaki Livestock Experimental Station)	14:30		
14:45			14:45		

口頭発表プログラム 3月21日			口頭発表プログラム 3月21日		
C会場 (総合教育棟3F309教室)			D会場 (総合教育棟3F310教室)		
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	時間	座長	6. 育種
13:00	喜田環樹	407 オーチャードグラスのラップサイロ表層における電磁波伝送特性と含水率との関係 ○松尾守展 ¹ ・長田 享 ¹ ・滝元弘樹 ¹ ・昆盛太郎 ² (¹ 農研機構・革新工学センター・ ² 産総研・物理計測標準研究部門)	13:00	佐藤広子	601 平高冷地におけるブイムキの交雑集団(F1世代)における特性評価 ○春日重光 ¹ ・西 智美 ¹ ・古畑賢人 ¹ ・村田有香 ¹ ・小山内光輔 ² ・関根 平 ² ・野宮 桂 ² (¹ 信州大学農学部附属アルプス園フィールド科学教育研究センター・ ² 雪印種苗株式会社 千葉研究農研)
13:15		408 静電容量式水分測定器を用いた牧草含水率測定手法の開発 ○川出哲生(農研機構 畜産研究部門)	13:15		602 トウモロコシ親系統の採種性向上のための補種技術の検討 ○川口 優・土方浩嗣(家畜改良センター茨城牧場長野支場)
13:30		409 矮性ネピアグラスにおける予乾処理がロールペールサイレージの発酵品質・選好性および越冬性に及ぼす影響 ○深川 聡 ¹ ・二宮京平 ¹ ・石井康之 ² (¹ 長崎農技セ・ ² 宮崎大農)	13:30		603 共生系家畜(ferrous occurtans)のイタリアンライグラス種内での分布特性を利用した高感染率種子採種の試み ○清 多佳子 ¹ ・吉田信代 ¹ ・菅原幸哉 ¹ ・森本信生 ¹ ・荒川 明 ² ・内山和宏 ¹ ・上山泰史 ¹ (¹ 農研機構・畜産研究部門・ ² 農研機構・九州沖縄農業研究センター)
13:45	河本英憲	410 調製直後のサイレージから放散されるガス状物質の測定方法に関する検討 ○池田四郎 ¹ ・折原健太郎 ² ・永井大悟 ¹ ・海福雄一郎 ¹ ・西館邦瑛 ¹ (¹ 株式会社ガステック・ ² 神奈川県畜産技術センター)	13:45	久保田明人	604 ソルガムF1採種における高品質種子生産 ○清沢敦志・水尻正裕・三木一嘉・後藤和美(長野県畜産試験場)
14:00		411 TMRセンターを基軸とした国産飼料流通における技術的課題調査 ○滝元弘樹・志藤博克(農研機構 革新工学センター)	14:00		605 西洋ミヤコグサスーパーバールートを用いたFOMハンディンシステムによるバイオマス関連遺伝子の探索と機能解析 ○権藤崇裕 ¹ ・永野 優 ² ・末吉佳那子 ² ・明石 良 ² (¹ 宮大フロンティア・ ² 宮大農学部)
14:15			14:15		5. 生理・形態・病理・昆虫
14:30			14:30	501 酵素処理を活用したグラスエンドファイト検出の省力化の試み ○菅原幸哉・清 多佳子・吉田信代・森本信生・小坂穂基夫(農研機構 畜産研究部門)	
14:45			14:45		

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。時間厳守。また、プロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月22日				口頭発表プログラム 3月22日					
A会場 (総合教育棟3F306教室)				B会場 (総合教育棟3F305教室)					
時間	座長	2. 造成・管理・栽培		時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動			
13:00	深川 聡	217	宮城県におけるソルガム新品種ターザンの育成特性 ○井戸田幸子 ¹ ・飛佐 学 ¹ ・石井康之 ¹ ・西村慶子 ² ・温谷茂樹 ² (¹ 宮崎大学農学部・ ² 宮崎県畜産試験場)	13:00	北川美弥	308	小規模・集約的な放牧システムにおける放牧牛の行動と草地利用(1): 休息場へのアクセスルートが限られた草地における結果 ○柴田千紘・平田昌彦(宮崎大学農学部)		
13:15		218	暖地型イネ科牧草ブラキアリアグラス草種の踏圧耐性の基礎研究 ○石垣元氣・Pattama Witthaisong・福山喜一・明石 良(宮崎大学農学部)	13:15		309	小規模・集約的な放牧システムにおける放牧牛の行動と草地利用(2): 構造および畜舎との位置関係が異なる2つの草地の比較 ○柴田千紘・平田昌彦(宮崎大学農学部)		
13:30		219	熱水処理がワルナスピ根片の生存に及ぼす影響 ○太田那子・佐藤克昭・鈴木 巧・高野浩(静岡県畜産技術研究所)	13:30		渡辺也恭	310	放牧牛群内の若齢個体における採食時の敵対行動(1): 頻度と種類 ○大重友季・平田昌彦(宮崎大学農学部)	
13:45		松本武彦	220	北海道の草地で問題となっているハルガヤの特性 陳綱汶 ^{1,4} ・小池真太郎 ² ・大塚博志 ³ ・平田聡之 ^{1,4} ・○山田敏彦 ^{1,4} (¹ 北海道大学大学院環境科学院・ ² 北海道大学農学部・ ³ ホクレン農業協同組合・ ⁴ 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)			13:45	311	放牧牛群内の若齢個体における採食時の敵対行動(2): 採食中断時間 ○大重友季・平田昌彦(宮崎大学農学部)
14:00			221	オーチャードグラス「えさじまん」とベレニアルライグラスの混播栽培 1. 採草放牧兼用における利用1年目の生育特性 ○眞田康治・田村健一・秋山征夫(農研機構 北農研)			14:00	池田 堅太郎	312
14:15	八木隆徳	222	チモシー早生新品種「なつちから」導入草地の植生変動と数種イネ科草種のストレス耐性からみた考察 ○藤井弘毅 ¹ ・大塚博志 ² ・豊岡誠嗣 ² ・有江裕志 ² ・安達美江子 ² ・桑島啓輔 ² ・太田裕規 ² ・太田昌利 ³ ・西村健太郎 ³ ・足利和紀 ¹ ・田中常喜 ¹ (¹ 道総研北見農試・ ² ホクレン農業協同組合連合会・ ³ 訓子府町役場)	14:15	313	ウシにおける視覚による植生識別能力の評価: 緑草と枯死草の識別(2) ○有本千恵・村上佳那奈・平田昌彦(宮崎大学農学部)			
14:30		223	作溝法による簡易更新時におけるチモシー播種量削減の可能性 ○松本武彦・八木哲生・酒井 治(道総研根創農試)	14:30					
14:45				14:45					

口頭発表プログラム 3月22日				口頭発表プログラム 3月22日			
C会場 (総合教育棟3F309教室)				D会場 (総合教育棟3F310教室)			
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用		時間	座長	優秀若手発表賞	
13:00	小橋有里	412	新規サイレージ添加用乳酸菌IWT192株(畜草2号株)の分離とその特徴評価 ○遠野雅徳 ¹ ・河野幸雄 ² ・福馬敬敏 ² ・本間満 ² ・谷沢靖洋 ¹ ・有田正規 ¹ ・北村孝 ³ ・野中和久 ¹ (¹ 農研機構畜産研究部門・ ² 広島県立総合技術研究所畜産技術センター・ ³ 雪印種苗株式会社・ ⁴ 国立遺伝学研究所)	13:00	川村健介	Y01	温暖化が寒地型牧草生産におよぼす影響のモデルによる評価 ○増見恵梨奈 ¹ ・阿部竹典 ² ・築城幹典 ² ・森 昭憲 ³ (¹ 岩手大院連農・ ² 岩手大農・ ³ 農研機構畜産研究部門)
13:15		413	Effect of silage additives on fermentation quality and nutritive value of total mixed ration (TMR) silage made from agricultural by-products ○Yuli Yanti ^{1,2} ・Masato Yayota ³ (¹ Department of Animal Science, Universitas Sebelas Maret, ² The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University, ³ Faculty of Applied Biological Sciences, Gifu University)	13:15		Y02	The heterogeneity of nitrification in the grazed pasture and its interaction to the soil microbial community ○茂木宏仁・内田義崇(北海道大学農学院)
13:30		414	規格外バレイショサイレージの発酵品質 ○小野恵美・松山裕城・浦川修司・中坪あゆみ・堀口健一(山形大学農学部)	13:30		Y03	中国内蒙古草原における2年間のリン酸窒素混合施肥が地上部生産量および土壌酵素活性に及ぼす影響 ○飯泉結季 ¹ ・金海 ¹ ・王海鳴 ³ ・阿拉塔 ¹ ・田島淳史 ¹ ・浅野敦之 ¹ ・石川尚人 ¹ (¹ 筑波大学 生命環境科学研究所・ ² 内蒙古自治区農牧業科学院畜牧研究所・ ³ 内蒙古農牧業科学院草原研究所)
13:45		415	黒毛和種繁殖牛向け混合サイレージの水含有率の違いが発酵品質に及ぼす影響 ○中武 真・西村慶子・温谷茂樹(宮崎県畜産試験場)	13:45		休憩	
14:00		嶮野英子	416	木綿ネットのルーメン内における消失率 ○小橋有里 ¹ ・関 誠 ^{1,3} ・岡嶋 弘 ² (¹ 新潟県農業総合研究所畜産研究センター・ ² (株)タカキタ・ ³ 現:新潟県農業総合研究所)		14:00	梅村恭子
14:15	417		スタックサイロ用長重石による作業性およびサイレージ品質に及ぼす影響 ○大越安吾(道総研根創農試)	14:15	Y05	放牧地の植生の違いが放牧ヤギの反芻胃内消化に及ぼす影響 ○田宮早恵 ¹ ・土井和也 ² ・中嶋紀寛 ² ・小倉振一郎 ³ ・八代田真人 ¹ (¹ 岐阜大・ ² 応生・ ³ 岐阜大・院・連農・ ⁴ 東北大・院・農)	
14:30				14:30	松山裕城	Y06	輸入飼料から自給飼料への転換: Life Cycle Assessmentを用いた酪農システムの評価 ○真浦睦也 ¹ ・八代田真人 ² (¹ 岐阜大学大学院応用生物科学研究所・ ² 岐阜大学応用生物科学部)
14:45				14:45		Y07	飼料用米の玄米乾燥体系が乾燥効率、製品率、飼料成分に及ぼす影響 ○川原直也(三重県農業研究所)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分(一鈴:10分、二鈴:12分、三鈴:14分30秒)です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。